



インターネットを閲覧中に突然、けたたましい警告音や音声アナウンスと共に「ウイルス感染」の警告画面が表示される「偽警告」。

その画面に表示された偽のサポートセンターに電話をさせて金銭を騙し取る特殊詐欺のひとつ、いわゆる「サポート詐欺」の被害に注意しましょう。

この手口は、きちんとウイルス対策をしても偽の警告画面が出ることがあります。

偽の警告画面に、実在する企業のロゴマークが表示されていても、動揺せず、冷静に対処しましょう。

## 偽の料金請求を受けるまでの流れ

1

警告画面に記載されていた電話番号に電話してしまふ。

2

電話をかけると、サポート業者を名乗るオペレーターが出て、「あなたのパソコンに問題がある。」などと不安を煽られる。

3

遠隔操作ソフトをインストールさせ、実際にサポート作業をしているように見せる。

4

作業費や年間サポート費用名目でクレジットカード決済やコンビニ決済を持ち掛けられる。

※画像は複数ある中の一例です。

# 対処方法は 警告画面を閉じる



この現象はほとんどの場合、実際のウイルス感染ではないため、偽の警告画面を閉じるだけで問題は解消されます。

それでも警告画面や警告音が消せない場合には、説明書などに従ってパソコンやブラウザの強制終了や再起動をしたり、パソコン販売店や家電量販店などに相談しましょう。

## 被害に遭わないためには？



## 他にも騙しの手口が存在します！

紹介した手口の他にも

- 偽のセキュリティソフトのインストールを誘導される
- 有料のセキュリティソフトの購入とインストールへ誘導し、決済情報入力画面からクレジットカード情報などの個人情報を盗まれる

など、様々な騙しの手口が報告されています。

偽のセキュリティソフトや遠隔操作ソフトをインストールしてしまった場合のパソコンへの影響は不明です。そのため、「システムの復元」を行い、パソコンを偽のセキュリティソフトや遠隔操作ソフトをインストールする前の状態に戻すことが推奨されています。「システムの復元」などが出来ないなどの場合はパソコンの初期化が推奨されています。